

平成20年度病虫害発生予報第10号の発表について

向こう1か月の主要な病虫害の発生動向についての予察情報及び病虫害防除に関する栽培管理について解説します。

病虫害防除の主な留意点

- ・ 冬期は、施設を中心とした野菜類や花き類の栽培が主体で、病害では果菜類の灰色かび病、べと病、うどんこ病等、害虫ではコナジラミ類、アザミウマ類等の発生について注意が必要となってきます。これらの害虫の中には、ウイルス病の病原を媒介するものもあるので、適切な防除を実施してください。
- ・ なお、薬剤散布を実施する場合には、病虫害が薬剤への抵抗性を獲得しないように、同一系統薬剤の連続使用を避けてください。
- ・ 果樹や茶などの永年作物で、春先の病虫害発生を抑えるために罹病枝葉の除去、病斑部の削り取り及び傷害部への薬剤塗布並びに粗皮削り及びマシン油散布等の栽培管理が重要となります。これらの管理が終了していないところは、早めに作業を実施してください。
- ・ また、天候の状況に注意しつつ、都道府県の発生予察情報に留意し、地域ごとの防除要否を見極めて、適切な病虫害防除を行ってください。

用語の解説

1. 【発生量（程度）】

- ・ 多い（高い）：やや多いの外側10%の度数の入る幅
- ・ やや多い（やや高い）：平年並の外側20%の度数の入る幅
- ・ 平年並：平年値を中心として40%の度数の入る幅
- ・ やや少ない（やや低い）：平年並の外側20%の度数の入る幅
- ・ 少ない（低い）：やや少ないの外側10%の度数の入る幅

（平年値は過去10年間の平均）

2. 【地域】

- ・ 北海道：北海道
- ・ 東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
北東北：青森県、岩手県、秋田県
南東北：宮城県、山形県、福島県
- ・ 関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
北関東：茨城県、栃木県、群馬県
南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

- ・ 甲信：山梨県、長野県
- ・ 北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県
- ・ 東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
- ・ 近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- ・ 中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- ・ 四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- ・ 九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県
- 北九州：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県
- 南九州：熊本県、宮崎県、鹿児島県
- ・ 沖縄：沖縄県

【水稲】

- ・ 育苗には、健全種子の使用と種子消毒を徹底してください。特に、生物農薬や温湯浸漬による消毒を行う場合は、それぞれの留意点を把握し、温度管理などに留意し、効果的な防除を行ってください。
- ・ また、いもち病に対して、育苗箱施用薬剤による処理を予定している場合、一部の薬剤に耐性菌が出ているので、都道府県から発表されている耐性菌の分布情報を参考にして、薬剤の選定準備をしてください。
- ・ なお、水田において除草剤を使用する際は、単一の剤を連続使用せず、地域ごとに実態に合わせた薬剤を組合せ、使用に当たっては、止水期間を1週間程度とし、止水中の薬剤の流出を防止するなどの措置を講じてください。

【果樹】

- ・ 常緑果樹では、カンキツかいよう病やカンキツそうか病等の病害は、罹病枝及び罹病葉が発生源となるので、昨年発生が多く見られた果樹園では、春先にそれら発生源の除去を行う等、適切な管理を実施してください。
- ・ 落葉果樹では、りんごの腐らん病の対策が必要なところでは、罹病枝の切り口や病斑部の削り取りを行った部位に薬剤塗布を実施してください。また、なしの黒星病、もものせん孔細菌病等の病害については、園地に残ったままの剪定枝及び落葉等の残渣や罹病組織の除去を行ってください。加えて、春先の感染を防止するため、発芽前の薬剤散布を励行してください。
- ・ 害虫への対策として、昨年ハダニ類及びカイガラムシ類の発生が多かった園地では、春先にマシン油の散布を行ってください。

【茶】

- ・ 茶については、春先の病虫害被害は、一番茶の収量や品質に大きく影響するので、園内の状況を観察し、病虫害の早期発見に努めてください。
- ・ カンザワハダニは、茶園の裾部等に集まって越冬しているので、裾葉の葉裏をよく観察し、暗赤色の雌成虫が多く見られるようになったら、薬液が葉裏まで届くよう丁寧な薬剤散布を行ってください。
- ・ 赤焼病は、低温期の秋から春季にかけて発生する病害で、春先では2月から3月頃に発病します。常発園地や幼木園では、多発する傾向があります。発生初期での防除が重要なので、発生が見られたら早期に薬剤散布を行ってください。

【野菜・花き類】

(施設栽培)

- ・ 夜間加温が行われるところでは、病害虫が発生しやすい環境になるので、病害虫発生について注意深く観察してください。特に、半促成栽培では定植後間もない時期で病害虫の被害を受けると、その後の生育や収量へ大きく影響するので、発生初期での防除を徹底してください。
- ・ 病害は、過湿な状態が発生の原因となるので、過度なかん水の回避、循環扇の設置、換気等により過湿を防止してください。
- ・ また、病害の伝染源となる罹病葉及び罹病果を発見したときは、施設外に除去し、土中に埋める等、確実に処分してください。
- ・ 害虫は、ウイルス病の伝染源となることもあるので、生息地である施設内及び周辺の雑草の除草をしてください。
- ・ また、施設の開口部に防虫ネット等を設置し、アザミウマ類、コナジラミ類等のウイルス病を媒介する微小な害虫の侵入防止対策を行ってください。
- ・ なお、栽培終期を迎えた施設では、これらの害虫（ウイルス病等の保毒虫）の野外への飛び出しを防ぐことが次作への重要な防除となります。このため、施設開口部に防虫ネットを設置し、栽培終了後は施設の蒸し込み処理等を行い、作物残渣は生存虫を死滅させてから搬出してください。
- ・ 施設栽培における主な病害虫の発生予想は、次表のとおりです。

今後の発生量が多い・やや多いと予想される病害虫及び対象地域

作物名／病害虫名	発生が多い地域	発生がやや多い地域
トマト		
疫病	北九州	南九州
灰色かび病	四国、北九州	関東、南九州
葉かび病	東海	北関東、南九州
コナジラミ類	――	南九州
なす		
うどんこ病	――	北九州
葉かび病	――	東海
すすかび病	――	東海
アザミウマ類	北九州	――
コナジラミ類	北九州、四国	――
ピーマン		
黒枯病	四国	――
ミナミキイロアザミウマ	――	四国
タバココナジラミ	四国	――
きゅうり		

べと病	南関東	北関東、東海、四国、南九州
うどんこ病	――	関東、北九州
褐斑病	北関東、北九州	――
灰色かび病	東海、南九州	――
アザミウマ類	――	関東
コナジラミ類	北九州	――

(露地栽培)

- ・ 現在、1月に降水量が多かった、東海、四国及び南九州では病害の発生が多く見られています。
- ・ 一方、向こう1ヶ月の天候は、気温は全国的に高く、降水量及び日照時間はほぼ全国的に平年並と予想されています。今後、気温が高い状況が続く場合、害虫の早期発生や発生初期での多発が懸念されます。引き続き、病害虫の発生動向に注意し、適切な防除を実施してください。
- ・ 露地栽培における主な病害虫の発生予想は、次表のとおりです。

今後の発生量が多い・やや多いと予想される病害虫及び対象地域

作物名／病害虫名	発生が多い地域	発生がやや多い地域
たまねぎ		
白色疫病	四国	東海
べと病	――	東海
レタス		
灰色かび病	――	四国
菌核病	――	南九州

【都道府県が発表した発生予察情報】

前回（平成20年11月13日）以降、各都道府県が発表している発生予察情報は下記のとおりです。

- ・ 注意報

発表月日	県名	作物名	病害虫名
11月28日	宮崎	きゅうり	キュウリ黄化えそ病(MYSV)
11月28日	宮崎	ピーマン	斑点病、菌核病、黒枯病
12月25日	鹿児島	いちご	うどんこ病
2月1日	大分	トマト	灰色かび病

2月3日	鳥取	らっきょう	白色疫病
2月4日	香川	レタス	灰色かび病
2月4日	愛媛	たまねぎ	白色疫病
2月12日	長崎	たまねぎ	白色疫病
2月12日	長崎	いちご	灰色かび病
2月16日	長崎	きゅうり	うどんこ病

・ 特殊報

発表月日	県名	作物名	病害虫名
11月14日	秋田	なし	ヒメボクトウ
11月21日	群馬	ほうれんそう	アシグロハモグリバエ
11月28日	徳島	ポインセチア	ルイスケハダニ（旧名：ルイスハダニ）
11月28日	千葉	イヌマキ	ケブカトラカミキリ
12月2日	岡山	りんどう	リンドウ黒斑病
12月3日	鹿児島	きゅうり	キュウリ黄化えそ病(MYSV)
12月4日	鳥取	らっきょう	Iris yellow spot virus(IYSV)による病害
12月4日	愛媛	きゅうり	キュウリ退緑黄化病（仮称）(CCYV)
12月5日	茨城	メロン	メロンえそ斑点病(MNSV)
12月8日	群馬	きゅうり	キュウリ退緑黄化病（仮称）(CCYV)
12月10日	栃木	きゅうり	キュウリ退緑黄化病（仮称）(CCYV)
12月10日	栃木	きゅうり	キュウリ黄化えそ病(MYSV)
12月10日	長野	すもも（プルーン）	フタモンマダラメイガ（別名：クロフタモンマダラメイガ）
12月15日	岐阜	きゅうり	キュウリ黄化えそ病(MYSV)
12月19日	岩手	トマト	トマトすすかび病
12月19日	岩手	トマト	トマトハモグリバエ
12月24日	和歌山	いちじく	イチジクヒトリモドキ
12月24日	新潟	トマト、きゅうり、メロン	タバココナジラミバイオタイプQ
12月25日	茨城	きく	キク茎えそ病(CSNV)
12月25日	高知	グアバ	アカオビアザミウマ

12月25日	徳島	デンドロビウム・フ アレノプシス	クリバネアザミウマ
1月5日	鹿児島	マンゴー	マンゴーハフクレタマバエ
1月14日	福島	いちじく	イチジク株枯病
1月19日	三重	きく	キクわい化病
1月22日	奈良	トマト、ミニトマト	トマト黄化葉巻病(TYLCV)
1月27日	三重	デンファレ	ランツボミタマバエ
1月30日	茨城	きゅうり	キュウリ黄化えそ病 (MYSV)
2月2日	佐賀	いちご	ハラアカモリヒラタゴミムシ
2月2日	佐賀	カナリーヤシ (フェ ニックス)	ヤシオオオサゾウムシ
2月9日	静岡	きゅうり	キュウリ黄化えそ病 (MYSV)

(参考)

警報：重要な病害虫が大発生することが予測され、かつ早急に防除措置を講ずる必要がある場合に発表される発生予察情報

注意報：重要な病害虫が多発することが予測され、かつ早目に防除措置を講じる必要がある場合に発表する発生予察情報

特殊報：新奇な病害虫を発見した場合及び重要な病害虫の発生動向に特異な現象が認められた場合に発表される発生予察情報

【その他】

<平成20年度の病害虫発生予報の発表日>

- 第1号：4月24日（木曜日）・・・発表済み
- 第2号：5月15日（木曜日）・・・発表済み
- 第3号：6月12日（木曜日）・・・発表済み
- 第4号：7月10日（木曜日）・・・発表済み
- 第5号：7月24日（木曜日）・・・発表済み
- 第6号：8月7日（木曜日）・・・発表済み
- 第7号：9月4日（木曜日）・・・発表済み
- 第8号：10月2日（木曜日）・・・発表済み
- 第9号：11月13日（木曜日）・・・発表済み
- 第10号：2月19日（木曜日）・・・今回発表

* 平成21年度の病害虫発生予報第1号の発表は、4月中下旬の予定としています。

お問い合わせ先

消費・安全局植物防疫課

担当者：防除班大岡，城島

代表：03-3502-8111（内線 4562）

ダイヤルイン：03-3502-3382

FAX：03-3502-3386

当資料のホームページ掲載 URL

<http://www.maff.go.jp/j/press/>